



校門の坂

山田小学校 学校便り 令和6年度第5号 1月14日発 文責 校長

【山田小学校HP <https://cms.miyazaki-c.ed.jp/1363/>】 是非御覧ください！

家庭での学習について考えてほしいです！

最近、「多様化」という言葉をよく耳にします。保護者の皆様の価値観や考え方も多様化してきていると思います。これは、家庭での子どもの学習に対する考え方にも、よく現れていると思います。スポーツに力を入れたい家庭、ピアノやダンス等の習い事をさせたい家庭、塾に通わせたい家庭、手伝いをさせたり、趣味に没頭させたい家庭などなど・・・。どのような価値観であれ、選択は自由だと思います。しかしながら、そこには子どもの気持ちや主体性があるべきだと思います。ぜひ、親子で家庭での学習の在り方について話してほしいと思います。

読み声はおすすめです！

ここからは、校長おすすめの家庭学習を紹介したいと思います。今回おすすめするのは、「読み声」（音読）です。音読は、認知症予防にも推奨されているほど、注目されている学習です。

まず、音読とは、

音読とは、簡単に言うと、声に出して文章を読むことです。ここで確認しておきたいのが、音読と朗読の違いです。音読は「自分の理解のために」読み、朗読は「読み手の理解のために」読むことを言います。私が勧めているのは、朗読ではなく、音読です。ただ声に出して読んでほしいのです。おうちの方が、「すらすら読んでいた」とか「気持ちを込めていた」等、評価するものではありません。あえて評価するならば、「上手だったね」と一言褒めてもらえれば十分です。あくまでも、自分のために読む時間です。

音読は、どんな効果があるのか

では、音読をすると、どんないいことがあるのでしょうか？一般的に言われている音読の効果は、以下のよう�습니다。

- 1 語彙力・読解力が向上する。（黙読よりも飛ばし読みのミスが減るからです。）
- 2 声に出することで文章の流れ、文節などの構造も意識できるようになる。
- 3 黙読のスピードも速くなり、読書をする楽しさがより感じられるようになる。
(入試の際に、問題文を早く読めて、テストで解く時間を確保することもできます。)
- 4 音読をすると、脳が活性化する。（音読は、脳の「前頭前野」を使います。前頭前野は、記憶、判断、思考、創造、集中などの働きをする大切な部位です。）
- 5 集中力が高まる。（前頭前野の働きの中に集中するという重要な働きがあるからです。）

どんなふうに取り組ませればいいのか

とにかく文章を声に出して読めばいいのですが、本人のやる気が大事ですので、次のような工夫をしていくといいと思います。

- 何を読んでいいのか分からない子は、国語の教科書が一番です。（社会や理科でも大丈夫）
- 漢字が苦手な子は、ふりがなに頼っていいのです。（読みないよりも読めた方がいい）
- 読む時間や量は、本人の意思で決めるようにしていきましょう。（やる気を見ながら）
- ひらがなも苦手な1年生等は、「あいうえお表」をくりかえし読んでもいいと思います。
- 3年生あたりからは、速く読む（速読）に挑戦してもいいです。（読解力が高まります）
- 「ひつかかったがね」とか「へたやねえ」等の注意は禁止です。褒める以外の指摘は、本人のやる気をなくします。余計な評価はしない方が効果的です。

